





はじめに お読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。 Windows 95インストールモデルの場合は、先に『ご利用にあたって』をご覧ください。 Windows 98インストールモデルの場合は、まず本書の手順通りに操作してください。 なお本書に記載のイラストや画面はモデルにより多少異なります。また、実際の画 面とは多少異なることがあります。

操作の流れ	1	添付品の確認2 不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。
	2	設置
	3	添付品の接続
		使い始めるのに必要な機器を接続します。本体の型を見て、本書の各型のページ をご覧ください。接続する前には必ず添付の ⁹ 安全にお使いいただくために。 を お読みください。
		省スペース型の場合15
		デスクトップ型の場合
		ミニタワー型の場合
	4	Windowsのセットアップ44
		はじめて電源を入れるときには、自分の名前などを登録して、Windowsをセッ トアップします。
	5	980FFICIAL PASSメンバーへの登録
		ユーザの登録をします。
	6	マニュアルの使用方法
		添付されているマニュアルの使い方について説明しています。
	7	使用する環境の設定と上手な使い方
		使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。



型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレク ション型番と呼びます)またはフリーセレクション型番(フレーム型番 とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型 番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、 必ず控えておくようにしてください。



フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなく した場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

スマートセレクション型番が記載されているステッカーの場合



「スマートセレクション型番を控える (P.3)へ進んでください。

フリーセレクション型番が記載されているステッカーの場合

6TF-00009-001-0001	
0001 PC-MA55JSZT5	-フレーム型番
0002 PC-M- MEE252	
0003 PC-M-1H 0 0 8 2	- コンフィゲオプション刑番
0000 PC-M- CDCDD2	
0006 PC-M-NELAN 2	

「フリーセレクション型番を控える(P.6)へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、「添付品を確認 する(P.10)へ進んでください。

● スマートセレクション型番を次の枠に控える

Office2000 Personal インストール Microsoft Windows98 インストール 本体・ディスフレーイエントモデル(D V 1 7 C 4) 1/2 ノチーリ6 4 M B 実際なみ	
L型番:PC-WA55JS7DWB85 1 T8773	ースマートセレクション型番



の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

\checkmark	型番	クロック周波数	
	46	466 MHz	
	50	500 MHz	
	53	533 MHz	
	55	550 MHz	
	60	600 MHz	
	70	700 MHz	
	73	733 MHz	

CPUの種類を表しています。

\checkmark	型番	CPU の種類
	Н	Intel® Celeron™ プロセッサ
	JまたはT	Pentium [®] III プロセッサ

3

本体の型を表しています。

 ✓ 	型番	本体の型
	A、C、L または Z	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

\checkmark	型番	ディスプレイの種類
	5	15 型 CRT ディスプレイ(DV15A3)
	9	19 型フルフラット CRT ディスプレイ(FE90)
	D	17 型フルフラット CRT ディスプレイ(DV17D2)
	E	18 型広視野角 TFT 液晶ディスプレイ(F18S1W)
	G	15型広視野角TFTデジタル液晶ディスプレイ(F15S32)
	Ν	15.4 型高精細 TFT 液晶ディスプレイ(F15R42W)
	R	15型TFT デジタル液晶ディスプレイ(F15T42)
	Y	14.1 型 TFT デジタル液晶ディスプレイ(F14T52)
	Z	なし

選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

\checkmark	型番	選択アプリケーションの種類	
	D Office 2000 Personal		
	Т	なし	
	U	一太郎 10・花子10パック & 1-2-3 2000	
	Y	Office 2000 Professional	

フロッピーディスクドライブ/スーパーディスクドライブおよびCD-ROMドライブ/CD-RWドライブのあるなし、キーボードの種類を表し ています。

~	型番	フロッピーディスクドライブ/ スーパーディスクドライブ	CD-ROM ドライブ / CD-RW ドライブ	キーボードの種類
	4	なし	なし	PS/2 109 キーボード
	5	なし	なし	USB 小型キーボード
	6	フロッピーディスクドライブ	CD-RW ドライブ	PS/2 109 キーボード
	7	フロッピーディスクドライブ	CD-RW ドライブ	USB 小型キーボード
	8	フロッピーディスクドライブ	CD-RW ドライブ	USB98 配列キーボード
	9	なし	なし	USB98 配列キーボード
	В	フロッピーディスクドライブ	CD-RW ドライブ	USB 109 キーボード
	D	スーパーディスクドライブ	CD-RW ドライブ	USB 109 キーボード
	Е	スーパーディスクドライブ	CD-RW ドライブ	USB 小型キーボード
	F	スーパーディスクドライブ	CD-RW ドライブ	PS/2 109 キーボード
	G	スーパーディスクドライブ	CD-RW ドライブ	USB98 配列キーボード
	Н	フロッピーディスクドライブ	CD-ROM ドライブ	USB 小型キーボード
	L	スーパーディスクドライブ	CD-ROM ドライブ	USB 109 キーボード
	М	フロッピーディスクドライブ	CD-ROM ドライブ	USB 109 キーボード
	S	スーパーディスクドライブ	CD-ROM ドライブ	USB98 配列キーボード
	Т	フロッピーディスクドライブ	CD-ROM ドライブ	PS/2 109 キーボード
	U	スーパーディスクドライブ	CD-ROM ドライブ	PS/2 109 キーボード
	V	フロッピーディスクドライブ	CD-ROM ドライブ	USB98 配列キーボード
	W	スーパーディスクドライブ	CD-ROM ドライブ	USB 小型キーボード
	Z	なし	なし	USB 109 キーボード

4

メモリの容量とネットワークボードの種類を表しています。

\checkmark	型番	メモリ容量	ネットワークボードの種類
	3	192MB	LAN ボード
	4	192MB	FAX モデムボード
	В	64MB	LAN ボード
	С	96MB	
	D	128MB	
	E	256MB	
	U	64MB	
	V	96MB	┌∧⋎ ┰<i>╧</i>╽ ╬ <u></u> ┟
	W	128MB	
	Y	256MB	

ハードディスクドライブの容量とマニュアルの種類を表しています。

\checkmark	型番	ハードディスクドライブ容量	マニュアルの種類
	6	6.4 GB	
	8	8.4 GB	
	С	13.0 GB	印刷マニユアル
	F	20.0 GB	
	Т	20.0 GB	
	U	13.0 GB	
	W	8.4 GB	電士1七マニュアル
	Y	6.4 GB	

上記の ~ のすべての組合わせが実現できているわけではありません。

次に「添付品を確認する(P.10)に進んでください。

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、「添付品を確認する(P.10)へ進んでください。

● フレーム型番を次のチェック表にチェックする

	1009-001-0001			6TF-000
〜フレーム型 番			JSZT5	0001 PC-MA55
		0007 PC-M-KBUSB1		0002 PC-M- MEE 252
		0008 PC-M- APMSW2		0003 PC-M-1H0082
		0010 PC-M-2H0082		0004 PC-M- FDFD D1
				0005 PC-M- CDCDD2
				0006 PC-M- NELAN 2
] 		(

PC-MA ZT5

フレーム型番に記載されているの意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

\checkmark	型番	クロック周波数
	46	466 MHz
	50	500 MHz
	53	533 MHz
	55	550 MHz
	60	600 MHz
	70	700 MHz
	73	733 MHz

CPUの種類を表しています。

~	型番	CPU の種類
	Н	Intel [®] Celeron™ プロセッサ
	J または T	Pentium [®] III プロセッサ

本体の型を表しています。

Y	型番	本体の型
	A、C、L または Z	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

2 コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

6TF-00009-00)1-0001 •••••••••••••••••••••••••••••••••	99999			
0001 PC-MA55JSZT5					
0002 PC-M- MEE252	0007 PC-M- KBUS				
0003 PC-M-1H 0 0 8 2	0008 P.C.M. APMS	V2			
0004 PC-M- FDFD D1	0010 PC-M- 2H00	8 2 	トコンフィグオブション型番		
0005 PC-M- CDCDD2					
0006 PC-M- NELAN 2					

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、 ~ はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選 択必須COP)。 ~ は選択したモデルやオプションによってステッ カーに記載されます(選択必須COPおよび任意選択COP)。また、ス テッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。

COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

PC-M-KB 1はキーボードの種類を表しています。(選択必須 COP)

1	型番	キーボードの種類
	98U	USB 98 配列キーボード
	PS2	PS/2 109 キーボード
	SMU	USB 小型キーボード
	USB	USB 109 キーボード

PC-M-1H 2は内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディスク ドライブ、プライマリマスタ)の容量を表しています。(選択必須COP)

\checkmark	型番	ハードディスクドライブ容量
	006	6.4GB
	008	8.4GB
	013	13.0GB
	020	20.0GB

PC-M-ME 2はメモリの種類と容量を表しています。(選択必須

COP)

\checkmark	型番	メモリの種類と容量
	E06	ECC あり 64MB (100MHz)
	E09	ECC あり 96MB (100MHz)
	E12	ECC あり 128MB (100MHz)
	E19	ECC あり 192MB (100MHz)
	E25	ECC あり 256MB (100MHz)
	N06	ECC なし 64MB (100MHz)
	N09	ЕСС なし 96МВ (100МНz)
	N12	ECC なし 128MB (100MHz)
	N19	ECC なし 192MB (100MHz)
	N25	ECC なし 256MB (100MHz)

2は5インチベイに搭載されるファイルベイ用内蔵機 PC-M-CD 器(セカンダリマスタ)の種類を表しています。(MA46H/Zはなし、その 他の機種は選択必須COP)

\mathbf{F}	型番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	CDD	CD-ROM ドライブ
	CDR	CD-RW ドライブ

PC-M-FD 1は3.5インチベイに搭載されるファイルベイ用内蔵 機器の種類を表しています。(MA46H/Z以外の省スペース型は選択必 須COP、その他はなし)

\checkmark	型番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	FDD	フロッピーディスクドライブ
	SDD	スーパーディスクドライブ

2はネットワークボードの種類を表しています。(MA70J/S、 PC-M-NE MA55J/S, MA50J/SでLANボードの場合はなし、その他は選択必須COP)

\checkmark	型番	ネットワークボードの種類
	LAH	I A NI -12 L*
	LAN	LAN M-F
	MDM	FAX モデムボード

4はグラフィックアクセラレータボードを表してい PC-M-GR ます。(MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/M、MA50J/Mは選択必 須COP。その他の機種はなし)

\checkmark	型番	グラフィックアクセラレータボード
	S4P	Savage4 [™] PRO

DV ۰F はディスプレイの種類を表しています。

(任意選択COP)

\checkmark	型番	ディスプレイの種類
	DV15A3	15 型 CRT ディスプレイ(DV15A3)
	DV17D2	17 型フルフラット CRT ディスプレイ(DV17D2)
	F14T52	14.1型TFT デジタル液晶ディスプレイ(F14T52)
	F15R42W	15.4 型高精細 TFT 液晶ディスプレイ(F15R42W)
	F15S32	15型広視野角TFTデジタル液晶ディスプレイ(F15S32)
	F15T42	15型TFT デジタル液晶ディスプレイ(F15T42)
	F18S1W-M	18型広視野角TFT液晶ディスプレイ(F18S1W-M) 注意
	FE90-M	19型フルフラットCRTディスプレイ(FE90-M) 注意

注意 ディスプレイの箱、ディスプレイの保証書、ディスプレイの銘板、ディス プレイ添付のマニュアルにはF18S1W、FE90と書かれていますが、 F18S1WはF18S1W-Mと、FE90はFE90-Mと同じ商品です。

PC-M-AP は選択アプリケーションの種類を表しています。 (任意選択COP)

✓	型番	選択アプリケーションの種類
	JST2	ー太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000
	MSW2	Office 2000 Personal
	MSW3	Office 2000 Professional

8

PC-M-ES	1はESMPROを表して	います。(任意選択 COP)
---------	--------------	-----------------------

型番	ESMPRO
ESM	ESMPRO

PC-M-SC 2はSCSIボードを表しています。(任意選択COP)

\checkmark	型番	SCSI ボード
	UWS	Ultra SCSI インタフェースボード(Wide 対応)

PC-M-2H 2は内蔵3.5インチベイに搭載される追加ハードディ スクドライブ(プライマリスレーブ)の容量を表しています。(任意選択 COP)

\checkmark	型番	追加ハードディスクドライブ容量
	008	8.4GB (2ndHDD)
	013	13.0GB (2ndHDD)
	020	20.0 GB (2ndHDD)

PC-M-ST 1は5インチベイに搭載される拡張ファイルベイ用内 蔵機器(セカンダリスレーブ)の種類を表しています。(省スペース型は なし、その他の型は任意選択COP)

\checkmark	型番	拡張ファイルベイ用内蔵機器の種類
	SDD	スーパーディスクドライブ
	ZIP	ZIP ドライブ

PC-M-MN 1は、本機に添付するマニュアルを表しています。(省 スペース型は任意選択COP、その他の型はなし)

 ✓ 	型番	マニュアル
	STD	印刷マニュアル

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリス トを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損して いた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

下記の他にも注意書きの紙などが入っている場合があります。

箱の中身を確認する

P.3 ①またはP.6 ①、P.7 ②の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

保証書(本体梱包箱に貼り付けられています) 保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、 保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書 の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理 については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によっ て機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理い たします。詳しくは、保証書をご覧ください。

はじめにお読みください(このマニュアルです) 本体(ディスプレイやキーボードなど 添付品収納箱 の周辺機器を含まないMate キーボード NXを指します) マウス

- 1つにパックされています。



- ^{*1} Microsoft_® Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook_® 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf_® Basic)
- ^{'2} Microsoft_© Office 2000 Professional(Microsoft_© Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook_© 2000, Microsoft PowerPoint_© 2000, Microsoft Access 2000, Microsoft Publisher 2000, Microsoft_© / Shogakukan Bookshelf_© Basic)
- ³³ 一太郎10·花子10パック(一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13)
- ¹⁴ ESMPRO/ClientManager Ver 2.1/Ver 3.0/Ver 3.1、DeliveryManager Ver 4.0/Ver 4.1/Ver 5.0 /Ver 5.2/Ver 6.0(ライセンスFD)

② 添付品収納箱の中身を確認する

___」は、各々1つにパックされています。



印のマニュアルは、省スペース型で「印刷マニュアル」(P.9@- がPC-M-MNSTD1)を選択した場合、およびデスクトップ型、ミニタワー型の場合のみ添 付されています。省スペース型の場合は、「電子化マニュアル」が「パックアッ プCD-ROM(OSを除く)」に入っています。





ソフトウェアのご使用条件 (箱の中身を確認後必ずお読みください) ソフトウェア使用条件適用一覧 (箱の中身を確認後必ずお読みください) システムインストールディスク(FD) バックアップCD-ROM アプリケーションCD-ROM RSA SecurPCユーザー登録カード



Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM



注 本機でWindows NT 4.0を利用する場合にのみ使用します。



③ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの 箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確 認する

(P.4 ● またはP.8 Ø で、ディスプレイのあるなし、種類がわかり ます)

④本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致し ていることを確認する

PC-MA XXX...XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保 証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示さ れています。

以上で添付品の確認は完了です。 次のペ - ジの「2] 設置 へ進んでください。



設置場所を決める



添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、 注意事項を守って正しくお使いください。



電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。



電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてく ださい。

t 🛕 :::::

6 1075

電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。



●設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

- **温度**10 ~35
- **湿度**20%~80%
- (ただし結露しないこと)
- 平らで十分な強度があり、落下のおそれがない
- (机の上など)

🗙 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機本体とキーボードなどを含んだMate NXを指します。の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているもの の近く

直射日光があたる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

テレビ、ラジオ、コードレス電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら.....

設置場所が決まったら、本機を設置します。本機は精密機器ですから、慎 重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因と なります。

本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。

いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続 できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでくだ さい。

できるだけ通風孔をふさがないように15cm以上のスペースを確保して ください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必 要です。

本機を移動するときは……

本機に接続しているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を 取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面 を持ってください。また移動中に、壁などにぶつけたりすると故障や破損 の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

Zipドライブ使用上の注意

Zip ドライブを搭載したデスクトップ型は、オプション製品 本体縦置き 台(PC-MA-K09)を使用できません。

以上で設置は完了です。

次のページの 3 添付品の接続 へ進んでください。



添付品の接続

デスクトップ型の場合はP.26をご覧ください。 ミニタワー型の場合はP.35をご覧ください。

省スペース型の場合

Securityモデルの指紋認証ユニットの接続は、「3 添付品の接続」から 「 G マニュアルの使用方法」の作業を完了させてから行います。詳しく は、「7 使用する環境の設定と上手な使い方」3.セキュリティの設定」の 「指紋認証を利用する」をご覧ください。

スタビライザをセットする

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタ ビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態で は、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場 合は、転倒防止のため、必ず次のようにスタビライザをスタビライザ取り 付け用ネジで取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、本体の上に約 17kgまでのディスプレイなどを置くことができます。

● 机の端などに本体を横置きに安定させる

2つのスタビライザを次のようにかみ合わせる



●本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け用 ネジ2個を使い取り付ける

本体を横にするときは、机やテーブルなどを傷つけたりしないよう に、厚手の紙や布などを敷いておくことをお勧めします。



次のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、1つのスタ ビライザを本体の、壁などと反対側の側面のみにセットすることができ ます。



<u>^</u>



1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、 必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

②本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する



●1つのスタビライザを、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り 付ける





本体の左側にセットする場合



添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより①または②のどちらかで接続してください。

 USB接続のキーボード(P.40- が5、7、8、9、B、D、E、G、H、L、M、S、 V、W、Zの場合、またはP.70- がPC-M-KB98U1、PC-M-KBSMU1、PC-M-KBUSB1の場合)を接続する場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接 続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側にある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。



②PS/2 109キーボード(P.4●・ が4、6、F、T、Uの場合、または
 P.7●・ がPC-M-KBPS21の場合)を接続する場合

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ 接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、❶または❷のどちらかで接続してく ださい。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

 ●CRTディスプレイもしくはアナログ液晶ディスプレイ(P.4 ●-が5、9、D、E、Nの場合、またはP.8 ●- がDV15A3、DV17D2、 F15R42W、F18S1W-M、FE90-Mの場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液 晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



②デジタル液晶ディスプレイ(P.4 ●- がG、R、Yの場合、または
 P.8 ●- がF14T52、F15S32、F15T42の場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに、確実にロックされるまで手で押し込んでくだ さい。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用し ても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレ イのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続して ください。



3. リンクケーブル 別売 またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、のの手順で接続します。

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



- ・端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で 受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。
 電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイ
 ド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボ ード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(⁻ る)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを本体のアイコン表示(、、)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

/♪ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。

アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。 アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

本体に添付する、サービスコンセント付電源ケーブルをご使用になる前に、下記の注意事項をよく読んでから接続してください。



サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は 接続しないでください。消費電力の大きな機器などに接続しま すと、火災の原因となります。

▲ サービスコンセントにテーブルタップを接続するなどのタコ ■火注意 足配線をしないでください。

サービスコンセントで供給できる電源の容量は3Aまでです。

次のページのイラストを見て●~❸の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

のディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイの場合です。 ディスプレイの電源ケーブルの接続については、ディスプレイ のマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグをサービスコンセントに差し込む

❸本体の電源ケーブルを接続する

本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを 壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



省スペース型の場合はP.15をご覧ください。 ミニタワー型の場合はP.35をご覧ください。

デスクトップ型の場合

添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、●または❷のどちらかで接続してください。

●USB接続のキーボード(P.4●- が7、8、B、H、M、Vの場合、または
 P.7●- がPC-M-KB98U1、PC-M-KBSMU1、PC-M-KBUSB1の
 場合)を接続する場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレ イのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側に ある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいませ ん。





 PS/2 109キーボード(P.40- が6、Tの場合、またはP.70- がPC-M-KBPS21の場合)を接続する場合

添付のマウス(緑)キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、①または②のどちらかで接続してください。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

 ●CRTディスプレイもしくはアナログ液晶ディスプレイ(P.4 ●-が5、9、D、E、Nの場合、またはP.8 ●- がDV15A3、DV17D2、 F15R42W、F18S1W-M、FE90-Mの場合)を接続する場合

本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なります。 機種とアナログRGBコネクタの位置を確認してから接続してくだ さい。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに本体とアナログ液晶 ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



MA46H/Sの場合



②デジタル液晶ディスプレイ(P.4 ● - がG、R、Yの場合、または
 P.8 ● - がF14T52、F15S32、F15T42の場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに、確実にロックされるまで押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



MA46H/Sの場合



3. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する 必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、2の手順で接続します。

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』 PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧になり、接続前の確認 を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合 を例に説明します。)

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する





●モジュラーケーブルを接続する場合

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(⑥)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示(、、)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使 うことができます。





4. アース線、電源ケーブルを接続する

/ ← 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの 電法 プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。 次のページのイラストを見て、①~〇の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイの場合です。ディスプ レイの電源ケーブルの接続については、ディスプレイのマニュ アルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 P.44「 4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

省スペース型の場合はP.15をご覧ください。 デスクトップ型の場合はP.26をご覧ください。

ミニタワー型の場合

スタビライザをセットする

本体には、安定して設置するためのスタビライザという脚があります。ス タビライザは梱包箱から出したままの状態では、本体底面にたたみ込ま れています。転倒防止のため、このスタビライザを出して設置してください。



本体はスタビライザを使用して、縦置きで使用してください。 横置きで使用すると、故障の原因となります。



1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、●または②のどちらかで接続してください。

●USB接続のキーボード(P.4●- が7、8、B、H、M、Vの場合、または
 P.7 2- がPC-M-KB98U1、PC-M-KBSMU1、PC-M-KBUSB1の場合)を接続する場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレ イのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側に ある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいませ ん。



または



② PS/2 109キーボード(P.4●- が6、F、T、Uの場合、またはP.7●-がPC-M-KBPS21の場合)を接続する場合

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を同色のコネクタに接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、❶または❷のどちらかで接続してく ださい。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

 ●CRTディスプレイもしくはアナログ液晶ディスプレイ(P.4 ●-が5、9、D、E、Nの場合、またはP.8 ●- がDV15A3、DV17D2、 F15R42W、F18S1W-M、FE90-Mの場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネ クタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネクタ の形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ 止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに本体とアナログ液晶 ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用して も構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイの USBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



②デジタル液晶ディスプレイ(P.4 ●- がG、R、Yの場合、または
 P.8 ●- がF14T52、F15S32、F15T42の場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

このときビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに、確実にロックされるまで手で押し込んでくだ さい。

本体と液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



3. リンクケーブル(別売) またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、のの手順で接続します。

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』 PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧になり、接続前の確認 を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合 を例に説明します。)

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

🥂 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。

アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 東火注意 火災の原因となります。

アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。 アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次のページのイラストを見て①~〇の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイの場合です。ディスプ レイの電源ケーブルの接続については、ディスプレイのマニュ アルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

- 度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 次のページの「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、自分の名前などを入力するWindows 98セットアップの作業が必要です。この作業には全部で30分程度の 時間がかかります。

セットアップをするときの注意

4

- ・指紋認証ユニットは接続しない
 Securityモデルをご購入の方は、「 4 Windowsのセットアップ」から
 「 6 マニュアルの使用方法」の作業が終わるまで、指紋認証ユニットの
 接続を絶対に行わないでください。
 詳しくは、「 7 使用する環境の設定と上手な使い方」3.セキュリティ
 の設定」の「指紋認証を利用する」をご覧ください。
- ・ プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶 対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した 場合は、先に「 (1) Windowsのセットアップ」から「7) 使用する環境の設 定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを 読んで接続や取り付けを行ってください。
- ・途中で電源を切らない

作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源 スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原 因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セッ トアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありま せんので、慌てずに手順通り操作してください。

セットアップを始める前の準備

Windows 98セットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があ ります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

- ●、②の順番に電源を入れてください。
- ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

CRT**ディスプレイの場合**

アナログ液晶ディスプレイ の場合



❷本体の電源を入れる

省スペース型の場合

デスクトップ型の場合



ミニタワー型の場合



セットアップの作業手順

電源を入れて、しばらくすると「この度は当社のパーソナルコンピュータ をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。」の画面が表 示されます。 これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に 手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故 障の原因になります。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、後述の セットアップ中のトラブル対策 (P.48)をご覧ください。

- キーボードの【Enter】を押すと、ハードディスクのチェックが 始まるので、チェックが終了したら【Enter】を押す
- ❷ ディスプレイの解像度を選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って画面の解像度を選択し、【Enter】を押す

800 × 600 ピクセル(ドット)の解像度を表示できるかどうかわからな い場合は、640 × 480 ピクセル(ドット)を選択してください。

❸ 再起動を促す画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

19型フルフラットCRTディスプレイ(FE90)の場合は、しばらくすると 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されますので、 次の手順を行ってください。

「プラグアンドプレイモニタ」と表示されていることを確認し、「次 へ」ボタンをクリック

「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

「フロッピーディスクドライブ」のチェックをはずし、「検索場所の 指定」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリック

「ドライバのある場所:」に「C:¥WINDOWS¥INF¥MONITOR.INF」と 表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

「完了」ボタンをクリック

④「Windows 98 へようこそ」の画面が表示されたら、名前とふりがなを入力する

ここで登録した名前やふりがなは、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには、再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

「名前」を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

「ふりがな」を入力する場合は、ふりがな欄にマウスポインタをあわせ、クリック

名前と同じように、ふりがなを入力することができます。

画面の右下にある、「次へ」ボタンをクリック

640 × 480 ピクセルの解像度で表示している場合、「次へ」ボタンは 画面の右下に隠れています。マウスでスクロールバーを操作してく ださい。

⑤「Windows ユーザー使用許諾契約」の画面を確認する

内容をよくご覧の上、次に進んでください。

▼をクリックして続きを見る

契約書を読んで「同意する」をクリック

(同意しない場合、セットアップは続行できません)

「次へ」ボタンをクリック

❻「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンを クリック

途中で自動的に再起動し、Windows 98の画面を表示します。

これでWindows 98のセットアップの作業は終了です。 次に「電源を切る」へ進んでください。

電源を切る

- ●「スタート」ボタンをクリック
- ❷「Windowsの終了」をクリック
- 3 本体の電源を切る
 - 「電源を切れる状態にする」をクリック

「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

④ ディスプレイの電源を切る

以上でWindowsのセットアップは完了です。 P.49 5 980FFICIAL PASSメンバーへの登録」へ進んでください。

47

セットアップ中のトラブル対策

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

 電源を入れて、表示される画面をチェックする スキャンディスクが実行され、異常が発見されなかった場合は、そのま まセットアップを続けてください。何か異常が発見された場合は、画面 の指示に従ってください。問題が解決したら、そのままセットアップを 続けてください。
 「Invalid system disk...」というエラーメッセージが表示された場合や、 スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを 伝えるメッセージが表示された場合は、Windows 98は起動しません。 Windows 98を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。再 セットアップについては、『活用ガイド再セットアップ編』をご覧くだ さい。

セットアップの途中で電源スイッチを押してしまったら、「Windowsを終 了します。よろしいですか?」というメッセージが表示された

・「キャンセル」ボタンをクリックする 元の画面に戻りますので、そのままセットアップを続けてください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、 メッセージを書きとめた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して強制的 に終了してください。

電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「・電源を入れて、表示 される画面をチェックする」をご覧ください。 5 980FFICIAL PASSメンバーへの 登録

> 添付の「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」をご覧になり、早めに 98OFFICIAL PASSメンバーへの登録を行ってください。

登録には、3種類の方法があります。

- ・インターネットのホームページからの登録
 「980FFICIAL PASSお客様登録カウンター」
 http://www.pc98.nec.co.jp/register/
- ・FAX用紙による登録(添付の「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」)
- ・専用はがきによる登録(添付の「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」)

e-mailアドレスを登録いただきましたお客様には、最新のドライバ情報を はじめとするさまざまな情報をお届けします(98MEMBER's LETTER)。

以上で98OFFICIAL PASSメンバーへの登録は完了です。 次のページの 6 マニュアルの使用方法へ進んでください。



本機に添付されているマニュアルを紹介します。目的に合わせてお読み ください。ただし、省スペース型をご購入の方は、「印刷マニュアル」が選 択できます。添付形態がそれぞれ異なりますので、よく読んでからお使い ください。 また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類を なくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』 PART3 トラブル解決

マニュアルを使用する前に

Securityモデル(MA50T/A)をご購入の方へ...

指紋認証ユニット(シリアル)ユーザーズマニュアル Securityモデルの指紋認証ユニットの場合、接続や セットアップ方法、システム設定(BIOS設定)を行う ときにお読みください。

Q&A の「その他、「アフターケアについて をご覧ください。



MA46H/Sをご購入の方へ...

『本機をお使いの方へ』 MA46H/Sに関するBIOSの設定の方法について記載 しています。



マニュアルの使用方法

印のマニュアルは、省スペース型で「印刷マニュアル(P.9.9・がPC-M-MNSTD1)を選択した場合、およびデスクトップ型、ミニタワー型の場 合のみ添付されています。省スペース型の場合は、「電子化マニュアル」が 「アプリケーションCD-ROM」に入っています。「電子化マニュアル」の使 用方法については、P.52「電子化マニュアルの使用方法」をご覧ください。

『安全にお使いいただくために』 本機を安全にお使いいただくための情報を記載して います。使用する前に必ずお読みください。



 「Microsoft_◎ Windows_◎ 98ファーストステップガイド』
 (Windows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の
 「Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』で
 もご覧いただけます。)
 Windows 98の全般的な基礎知識や基本的な操作方法

を確認したいときにお読みください。

『活用ガイド 再セットアップ編』 本機のシステムを再セットアップするときにお読み ください。

『活用ガイド ハードウェア編』 本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定) について確認したいときにお読みください。

『活用ガイド ソフトウェア編』 アプリケーションの概要と削除/追加、他のOSをセッ トアップするときや、トラブルが起きたときにお読み ください。

『ハードウェア拡張ガイド』 本体の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機 器の取り付けを行うときにお読みください。

『ATコマンド』で電子化マニュアル) FAXモデムボードを搭載したモデルの場合、ATコマンドについて知り たいときにお読みください。

ディスプレイのユーザーズマニュアル 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの 場合は、ディスプレイに添付されています(P.2 1 添付品の確認」をご 覧ください)。ご利用の前に、必ずお読みください。

選択アプリケーションのユーザーズマニュアル モデルによって、Office 2000 Personal、Office 2000 Professional、一太郎 10・花子10パック&1-2-3 2000などのマニュアルが添付されています(P.2 「1 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。







『メンテナンス&サポートのご案内』 ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンス とサポート情報について知りたいときにお読みくだ さい。



『NEC PCあんしんサポートガイド』 パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時 のサービス網について知りたいときにお読みください。



Microsoft 関連製品の情報について -

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発 者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用する ための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子化マニュアルの使用方法

電子化マニュアル(PDFファイル)を使用する場合は、はじめにAcrobat Reader3.0Jを追加する必要があります。次の手順で追加してください。

1. Acrobat Reader 3.0 Jの追加

NetPCモデルをお使いの場合は、あらかじめネットワーク上で任意のコンピュ ータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。

- Windows 98を起動する
- CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブに本機に添付の「ア プリケーションCD-ROM」をセットする
- ❸「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- ⑦ アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 「インストールと削除」タブを選択する

⑦「次へ」ボタンをクリック

- ③「インストールプログラムの実行」の画面の「インストールプロ グラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>: ¥NSETUP.EXE」となっていることを確認する
 - 例 CD-ROMドライブ名がQの場合 Q:¥NSETUP.EXE
- ♀「 完了」ボタンをクリック
- ①「プロダクトの選択」で「Acrobat Reader」をクリックし、 「OK」ボタンをクリック
- ①「Adobe Acrobat Reader 3.0Jインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 10「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- ⑥「使用許諾契約書」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- ④「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタン をクリック

インストールが始まります。

「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「終了」ボタンを クリック

メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。 読み終えたら終了させてください。

- ⑥「Adobe Acrobat Reader 3.0Jセットアップ」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- CD-ROMをCD-ROMドライブまたはCD-RWドライブから取り出す

これで追加は完了です。

2. 電子化マニュアルを見る方法

次の手順でAcrobat Reader 3.0Jを起動して、ご覧ください。

●「スタート」ボタン 「プログラム」「Adobe Acrobat」 「Acrobat Reader 3.0」をクリック 2「ファイル」「開く」をクリック

電子化マニュアルは「アプリケーションCD-ROM」に次のファイル名 で添付されています。

 『活用ガイド ハードウェア編』
 ¥MANUAL¥NX活用HW編98.PDF

 『活用ガイド ソフトウェア編』
 ¥MANUAL¥活用SW編98.PDF

 『ハードウェア拡張ガイド』
 ¥MANUAL¥NXHW拡張.PDF

 『ATコマンド』
 ¥MANUAL¥NXATコマンド.PDF

❸ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリック

電子化マニュアルが表示されます。

×E

- 「エクスプローラ」等で上記2のファイルをダブルクリックしても開く ことができます。
- ・必要に応じてハードディスクにファイルをコピーしてご利用ください。
- 次のWebサイト(PICROBO)ではNEC製の電子マニュアルをダウン ロードできるサービスを行っております。また、NEC PCマニュアルセ ンターでは、マニュアルの販売を行っています。
 http://download.pc98.nec.co.jp/m/NX/index.htm

PDFファイルのサイズが大きく、Acrobat Reader 3.0Jをインストールされている場合、Internet Explorer 4.0x及び5.0では開けない場合があります。その場合は、Acrobat Reader 4.0をダウンロードしてお使いください。

3. 電子化マニュアルを印刷するときの補足事項

電子化マニュアルを印刷する場合は、ポストスクリプト対応の600dpi以 上のページプリンタを推奨します。

黒地に白の文字(例:このような文字)がうまく印刷されない場合は、次のいずれかの方法を行ってください。

- プリンタドライバを最新のものにしてする
- ・ プリンタが複数ある場合は、プリンタを切り替える
 それでもうまく印刷されない場合は、切り替えたプリンタのドライバを最新のものにしてください。
- ・ Adobe Acrobat Reader 4.0をインストールする 次のWebサイトからダウンロードしてください。

http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html

以上でマニュアルの使用方法は完了です。 次のページの 7 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能 の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編』および『活 用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。また、MA46H/Sの場合は、 『本機をお使いの方へ』とともにお読みください。

1. 補足説明(Readmeファイル)を読む

本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアル では掲載していない機能について説明したファイルがあります。「ス タート」ボタン 「プログラム」「補足説明」をクリックしてお読みく ださい。

2. システムスイッチの設定(電源スイッチの設定)

システムスイッチの工場出荷時の設定は、「パワーボタン」になって おり、電源スイッチを押すと、電源を入れる/切る機能になっていま す。「スリープボタン」に設定し、電源スイッチを押すと、スタンバイ/ スタンバイからの復帰機能になります。(BIOSセットアップメニュー の工場出荷時の設定は、英語で表示されるようになっています。)この 設定内容の詳細については、『活用ガイド ハードウェア編』『PART2 システム設定』の「省電力の設定」をご覧ください。

MA46H/S**の場合は、『本機をお使いの方へ』** Power Management Setupの設定」をご覧ください。

3. セキュリティの設定

設定内容の詳細などについては、『活用ガイド ハードウェア編』 「PART1 本体の構成各部」の「Mate NXセキュリティ/マネジメント 機能」をご覧ください。

BIOS LOCK

・パスワードを設定する

スーパパイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、 本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止する ことができます。

・指紋認証を利用する

Securityモデル(MA50T/A)の場合

指紋認証ユニットの接続やセットアップは、添付の『指紋認証 ユニット(シリアル)ユーザーズマニュアル』をご覧の上、作業 を行ってください。

55

別売の指紋認証ユニットを利用する場合

別売の指紋認証 PK-FP002)を利用することで、本体起動時に BIOSレベルで指紋によるユーザー認証を行い、不正起動や BIOSの設定変更を確実に防止します。MA46H/Sは、指紋認証 を利用したBIOS LOCKができません。

・スマートカードを利用する

別売のスマートカードリーダ/ ライタ(PK-SM001)とスマート カード(PK-SM003)を利用することで、個人認証をすることがで きます。MA46H/Sは、スマートカードを利用したBIOS LOCKが できません。

○ハードディスクパスワード機能

ハードディスクドライブにパスワードを設定することで、本機以外 のパソコンでのハードディスクドライブの不正使用を防止するこ とができます。

スーパパイザパスワード/ユーザパスワードを併用することによ リ、ハードディスクドライブの不正アクセスを防ぐことが可能で す。MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/Cの場合 に利用できます。

31/0**Dック**

フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどを利用できな いようにします。コンピュータウイルスの侵入を防いだり、パソコ ンのデータを無断コピーされたり、パソコンに悪影響を与えるおそ れのあるアプリケーションなどのインストールを未然に防止する ことができます。

④筐体ロック

内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難やスーパパイ ザパスワード、ユーザパスワードの解除を防止するため、錠をかけ ることができます。

- 4. データのバックアップの設定
 - Masty Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えな くなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを 作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアッ プをとるようおすすめします。 本機にはハードディスクドライブをバックアップするアプリケー ション(Masty Data Backup)が「アプリケーションCD-ROM」に添付 されています。(MA46H/Lには添付されていません。) 詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』 PART1 本体の構成各 部」の「ハードディスクドライブ」、『活用ガイド ソフトウェア編』 「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「Masty Data Backup」をご覧ください。

❷ BIOSセットアップメニュー

「システムのバックアップ警告」を設定すると、本機起動時にバック アップを行うように警告を定期的(毎日、毎週、毎月)に出すことがで きます。(MA46H/Sはこの機能を利用できません。)

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』『PART2 システム設定』の 「セキュリティの設定」をご覧ください。

5. 利用する添付アプリケーションの設定

VirusScan、Easy CD Creator Lite、DirectCDなど

本機には、ウイルスを検査・駆除するアプリケーション(VirusScan) がアプリケーションCD-ROM」に添付されています。またCD-RWド ライブが搭載されているモデルでは、CD-RおよびCD-RWヘデータ を書き込むアプリケーション(Easy CD Creator Lite、DirectCD)が 「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」に添付されています。 この他にも便利なアプリケーションが添付されています。 詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

6. 運用・管理するための添付アプリケーションの設定

メンテナンスウィザード、RSA SecurPC、Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) pcAnywhere 9.0 EX、 CyberAccess

本機には、スキャンディスクなどを定期的に実行させるための機能 (メンテナンスウィザード)、ファイルやフォルダの暗号化/復号化 を設定する機能(RSA SecurPC)、本機に接続されているパソコンの 情報を管理する機能(Intel®LANDesk®Client Manager 6.0(with NEC Extensions))、遠隔地からパソコンを操作する機能(pcAnywhere 9.0 EX)、システム管理者向けと一般ユーザ向けの利用環境を設定する 機能や、Windows 98の動作に影響を与えるファイルを監視する機能 (CyberAccess)を提供するアプリケーションがアプリケーション CD-ROM (メンテナンスウィザードを除く)に添付されています。 MA46H/Lには、Intel®LANDesk®Client Manager 6.0(with NEC Extensions)、pcAnywhere 9.0 EXは添付されていません。 詳しくば「活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

57

● トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方、メンテナンスウィザードなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』 PART3トラブル解決Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

②本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスな ど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハード ウェア編』「PART4 付録」の「本機のお手入れ」をご覧ください。 ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことが ありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱 丁本はお取り替えいたします。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任 も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用くたさい。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

「一太郎」花子」ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎10・花子10パック」にかかる 著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

VirusScanは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Design のロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標で す。RSA SecurPCおよびSecurity Dynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

Lotus Letus Development Corporationの立跡間保て

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

pcANYWHERE32およびpcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

Adobe、Acrobat**および**Acrobat**ロゴは**Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。 PS/2は、IBMが所有している商標です。

Intel、Pentium、CeleronおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国および他の国々における登録商標および商 標です。Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテ クノロジを使用しています。

Sarvage4は、S3社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

三版 2000年1月 ©NEC Corporation 1999, 2000 日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。 808-877675-128-A3



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙(古紙率100%)を使用しています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Active Movie、Netmeeting、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録 商標です。